

# 企業やNPOを設立。

## 志は健全なビジネスと共に

最後は、自ら起業した女性たち。哲学と美意識を発信するため、経済の仕組みのなかできちんと社会貢献の精神とは、現代社会のシステムと切っても切り離せない関係にあるのですから。

### ラグジュアリー系フェアトレード中心に発信!

国連機関などの多いスイスは、人道支援の長く深い歴史をもつ国。長坂さんはジュネーブとチューリッヒに約9年在住。鋭い切り口のジャーナリスト活動が続けるかたわら、フェアトレード商品を中心としたショップとサイトを立ち上げました。この地に住んでいること、子育てなどを通して社会と関わってきた実感から、社会貢献につながる起業に辿り着いたといいます。●「扱うのはハイクオリティでデザイン性の高いフェアトレード商品。そして伝統工芸や地場産業の振興に結びつく商品など、未来へ向けたサステナビリティ(持続的発展性)の高い商品の発信です」。例えば写真の漆器は、伝統美だけでなく「ヨーロッパの石造りの空間にあってひとり立ちできる高いデザイン性と技術」がある作品。「伝統工芸がグローバル化のなかで消えていくのは残念なことだから」●そしてヨーロッパ中で探したファッション小物やコスメ、テーブルウェアなど。写真の螺鈿のバッグは、デザインはスペイン人女性、製作はベトナムのフェアトレード商品。「作り手のライフスタイルやポリシーに共感できることも大切な条件」。未来へ続く価値観を発信するビジネスでもあるのです。



©Miguel Bueno

#### 長坂道子さん

##### Profile

ながさか・みちこ ●作家・ジャーナリスト。小誌編集部を経て'88年渡仏。パリ、アメリカ、ロンドンを経て現在スイス在住。11月からセレクトショップ、および英・独・日本語サイト「Fairytale Select」を開設。http://www.fairytaleselect.com/

上は能登の赤木明登氏の漆器。工房まで訪ねたそう。下のバッグとの出会いはパリのモード・エシックで。NGO出身のデザイナーと意気投合して取り扱うことになりました



### 社会貢献活

チャリティ団体や報サポートを目的一シャル コンシ上げた林さん。フンドのプレスからともとチャリティ時から個人的に活を通じても取り組えば新作発表会でているクッキーをログを作る際に各献活動を掲載したで気づいたのが、どこも忙しさや予算金や人手を集めるでなかなか手が実。そこで広報をビジネスを始めるこりたいことと今まける方法がようやくでした」●現在はリティ活動に関するネットを提供するら問題意識を高め多数開催している。ースを使ってどのるか。その方法はすし、誰もがオリ践できるはず。がモデルケースに